平成30年度　松本神映幼稚園　「自己評価および関係者評価」

１．園の教育目標

育て　神映の木

「自立」の根を張り、「体験」で幹を太らせ、「交流」で枝を伸ばそう。

「自立の根」　生活のリズムや習慣を確立し、安定・安心した園生活を送る。
「体験の幹」　周りの環境に働きかけ、達成感を味わいながら自信を深める。
「交流の枝」　友だちと共に活動を楽しみ、思いやりと社会性を身に付ける。

２．本年度の重点活動

「自立」　生活のリズムや習慣を確立し、安心の園生活を送ります。
「体験」　体験の日、さまざまな活動にどんどんチャレンジします。
「交流」　異年齢交流や集団あそびで、豊かな人間関係を築きます。

３．主体的な学びへの支援

①子ども自身が決める声がけ　②やりたくなる仕掛けづくり　③モデルを示して意欲づけ

４．自己評価

A…十分達成されていると思う　B…達成されていると思う
C…取り組んでいるが、成果が十分でないと思う　D…取り組みが不十分であると思う

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	1 園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	2 教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	3 常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	4 事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	5 園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	6 園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	7 法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	8 日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	9 幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	10 保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	11 本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	12 園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	13 園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	14PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	15 地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	16 保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	17 子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

４．学校関係者評価委員(モニター)からの評価

・今年も、先生方の笑顔や保育姿勢、対応の良さ等に対して高い評価をいただいた。園全体の雰囲気や教育課程への評価、また何より園児が力をつけつつ楽しく過ごしていることを評価する声が多かった。主体的な学びへの取り組みにも多くのご賛同をいただいた。

・参観日の回数や時期、バスロケやバス運行、手狭で古い施設面、保育者の増員、専科の回数や内容、運動会の充実、写真注文のあり方等々、様々なご意見をいただいた。大事に検討し、来年度の計画に生かしていきたい。

５．今年度の総合的な園評価と次年度への課題

・保育の方針や内容が転換する時期でもあったが、支援の方向のきめ出しや園内研修の充実等により、スムーズに新教育課程への移行や主体的な学びへの対応を行うことができた。

・目標や重点、活動内容や支援のあり方等、大きな流れは今年度の方向を継続していきたい。また、全職員でこれらを共通理解して進めることで、子どもたちのより大きな成長へとつなげたい。